

ビシッと
決めよう!

第2章

仕上げが肝心! 工作に必要な道具・材料から、完成後の動作確認まで

オールDIP! 付録基板で1日製作! πduinoの組み立て方

砂川 寛行 Hiroyuki Sunagawa

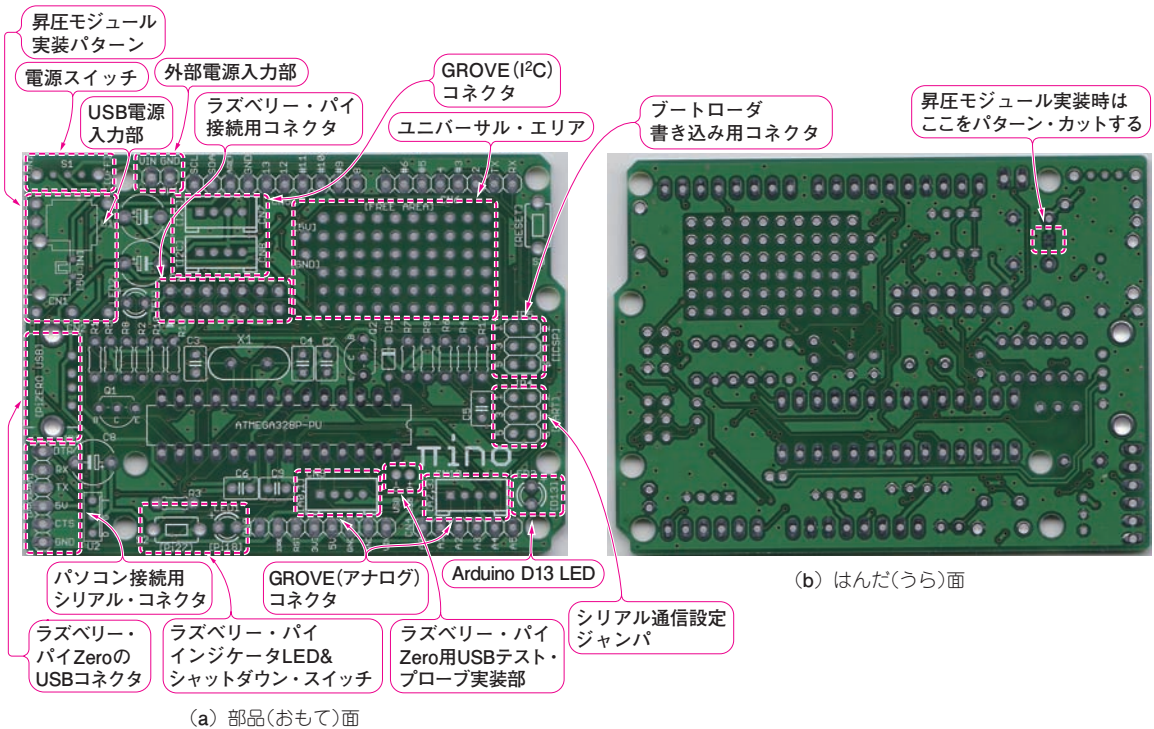
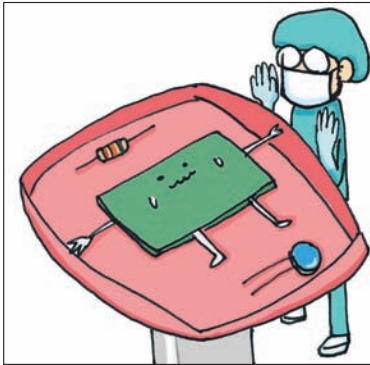


写真1 オールDIP対応! 本誌付録の1日製作プリント基板πduino(部品実装前)

本誌付録の1日製作プリント基板「πduino」の組み立て方を解説します。写真1に示すのは、組み立て前の本誌付録のプリント基板です。図1に回路図を、表1に実装部品を示します。
〈編集部〉

事前に準備するもの

● 工具

πduinoの組み立てには、はんだ付けと部品の加工が必要です。事前に写真2に示す工具を準備してください。専門メーカーの工具は比較的高価です。100円ショップでもたいていの工具がそろいますが、品質も値段相応なので、作業に支障をきたすこともあります。

電子工作の場合は、**はんだこてだけでも専門メーカー品を用意するとよいでしょう。**

参考までに私が使用している工具の型番・メーカー名を示します。中には30年以上愛用しているものもあります。

▶ はんだこて：PX-201(太洋電機産業)

こて先を常に適温に保ち、必要以上の加熱で部品や基板にダメージを与える恐れが低い**温度調整機能付き**を推奨します。特に**初心者の方ほど、こて先の温度を調整できるタイプを選んだほうがよいです。**

こて先は使っていくうちに劣化する消耗品なので、定期的に交換しましょう。

▶ はんだこて台：ST-11(太洋電機産業)

はんだ付けの作業中、こて先は300℃を超える高温